

森林共同施業団地の設定に向けて

お問合せ：日高南部森林管理署
0146-42-1615

○ 地域の森林・林業の再生に向け、民国連携して森林共同施業団地を設定することで、路網整備の一体化や施業地の集約化を進め、効率的な森林施業をめざす取り組み。

①現状・背景



日高流域では民有林の集約化や民国連携による森林整備が進んでおらず、個々に事業を実施していることから非効率な側面があった。

②このため

日高流域における森林の集約化のモデルとするため、流域内の各市町村・森林組合・振興局・森林管理署により、森林共同施業団地設定の検討が進められた。



③平成26年度の取組実績

【検討会議の開催】

今後の方向性を検討するため浦河町、日高東部森林組合、日高振興局、森林管理署の4者間において団地化推進協議会を設置。担当者レベルで施業団地設定に関する意見交換を実施し、団地化の必要性について確認した。



【現地検討会の実施】

日高流域における効率的な施業のあり方を検討するため、高性能林業機械の生産現場において現地検討会を実施。新ひだか町・浦河町の関係者が集まり、低コストで高効率な森林施業の必要性を再認識した。



④将来的には・・・

日高流域に森林共同施業団地を設定し、民国連携による路網整備、立木販売、高性能林業機械を利用した列状間伐の実施など効率的な森林施業を進め、地域林業の活性化を図る。



高性能林業機械による効率的な施業の実施

列状間伐の推進



民有林・国有林が連携し地域林業の活性化に貢献